

平成29年度第2回花巻市行政評価委員会（人づくり・地域づくり部会）会議録

1 開催日時

平成29年7月7日（金） 午後3時30分～午後5時

2 開催場所

花巻市役所3階 小会議室

3 出席者

(1) 委員 4名

堀籠部会長、久保田武司委員、久保田廣美委員、板垣委員

（※高橋 勉 委員、高橋 誠 委員は欠席）

(2) 説明者（施策主管課） 1名

高橋こども課長

(3) 事務局（施策及び事務事業評価担当課） 2名

秘書政策課：高橋課長補佐

財政課：経営財務係高橋主任

4 議題

市が実施した施策評価のうち、花巻市行政評価委員会の評価対象施策である「子育て支援の充実」について評価を行った。

(1) 施策主管課による説明、質疑応答

(2) 委員会の評価結果集約

5 議事録

(1) 施策主管課による説明、質疑応答【主な意見・質疑等】

板垣委員：「4 施策を構成する事務事業一覧」において、成果が「－」となっているのはなぜか？

高橋課長：成果が「－」となっているのは、国の法律で決まっている事業のため。

板垣委員：施策への貢献度の中の「直結度」はどのような基準で判定しているのか？

高橋課長補佐：数値基準は定められていない。政策部会、課長、担当者などの意見をもとに、定性的に評価している。肌感覚で決めているともいえる。

板垣委員：直結度は貢献度と考えてよいか？

高橋課長補佐：施策評価シート記載要領（項目説明）にあるように、直結度は施策の目的達成のために直接的か補完的であるかを判定するものである。

板垣委員：「5 施策を構成する事務事業の検証」にて、さらに成果の向上を図る事業として、「保育量確保対策事業」があげられているが、これは新規事業

なのか？

高橋課長：保育施設の新設とマンパワー（保育士）の拡充の二つに分けられ、前者は現行の事務事業に含まれており、後者は新規事業である。

久保田廣美委員：「6 施策の総合的な評価」の課題の中に、待機児童対策として「保育ニーズ」とあるが、どのようなくくりで把握しているのか？

高橋課長：花巻を4地域（花巻、石鳥谷、東和、大迫）に分けて把握している。待機児童のほとんどは花巻で発生している。

板垣委員：「2 成果指標」にて、保育所の待機児童数の目標値が「H26年31人、H27年29人、H28年0人」と推移しているが、これは中期プランのものなのか？

高橋課長：第2期中期プランのものである。

板垣委員：H29年以降の待機児童数の目標値を教えてください。

高橋課長：第2期中期プランより「H29年27人、H30年8人、H31年0人」である。

堀籠部会長：「5 施策を構成する事務事業の検証」は事務事業評価シートの総括と考えてよいか？

高橋課長：そのように考えてよい。

堀籠部会長：そうであれば、19ある事務事業に対して成果の向上を図る事業が1事業では不十分ではないか？

高橋課長：「2 成果指標」をもとにまとめたところ、向上余地がある事業として保育量確保対策を挙げることにした。

堀籠部会長：「5 施策を構成する事務事業の検証」は、理由を加えて記載したほうがよい。また「6 施策の総合的な評価」と対応させた構成にすべきだと思う。そもそも「6 施策の総合的な評価」は何を根拠にしているのかシートからは読み取れないため、「5 施策を構成する事務事業の検証」でもっと掘り下げ、6の評価につなげるほうが分かりやすい。

板垣委員：イーハトーブ子育て応援プランで「計画の見直し」とあり、平成29年度はこの計画の中間年にあたるが、見直しは行うのか？

高橋課長：計画と異なることがあったため、中間年にこだわらず必要に応じて見直している。平成28年度に1回見直している。

久保田武司委員：学童クラブの待機児童については考えていることがあるか？

高橋課長：学区の学童クラブに入れない場合、他地区であっても送迎で対応できる学

童もあるため、実質的に利用できない状況にはならない。

(2) 委員会の評価結果集約【施策評価検証シート】

◇①施策を構成する事務事業の評価・検証について

→おおむね的確であるが、事務事業評価の総括をふまえた記載内容としてほしい。

◇②施策の成果指標及び達成状況の分析について

→成果指標「市の子育て相談体制に満足している保護者の割合」で「不十分との回答が7.5%」とあるが、「不十分」となった背景をもっと説明するべきである。

◇③施策の総合的な評価について

→課題はおおむねとらえられている。ただし、事務事業の内容をふまえた課題の洗い出しが必要である。また、分かっていることについては具体的に記載したほうがよい。例えば、「相談窓口の充実」ではなく「相談窓口の〇〇を□□して充実させる」など。

◇④シート記載内容について

→「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績」は事務事業評価シートを見れば分かるため、メインの取組だけを記載すればよいと思う。また、シートの記載者により内容にバラツキが出るため、記載要領を分かりやすくして周知の徹底を図ってもらいたい。

【その他】

板垣委員：3つある指標のうち「保育所の待機児童数」のみが達成度「c」であるが、それに引っ張られて全体の達成度が「C」になるのは厳しすぎるのではないか。

高橋課長補佐：シートの記載要領上、「c」判定の成果指標があると全体の達成度が「C」となってしまいが、毎年、厳しいとのご意見をいただいている。